

GSTCサステナブルツーリズム研修を実施

【ブランディング】

7月7日（火）から9日（木）の3日間、香川県三豊市内で、四国「持続可能な観光」推進ネットワークの会員を対象とした「GSTCサステナブルツーリズム研修」を実施しました。

本研修では、GSTC公認トレーナーである荒井一洋氏（DAISETSUZAN EXPERIENCE 代表）から持続可能な旅行と観光の世界標準であるGSTC基準に関する講義のほか、ビジネスや地域における優良事例をご紹介いただきました。また、初日・2日目の座学で学んだ知識を持って、3日目は三豊市内でフィールドワークを行いました。

▶ フィールドワークの内容

- ①「仁尾の町並み」における文化的、社会経済のサステナビリティに関する取組
- ②「NIPPONIA仁尾」（宿泊施設）における文化的、社会経済のサステナビリティに関する取組
- ③「父母ヶ浜」における持続可能なマネジメント（オーバーツーリズム対策等）及び環境のサステナビリティに関する取組

※「GSTCサステナブルツーリズム研修」とは、旅行や観光における持続可能性の実践とその改善を行うために必要な知識と手法について学ぶ研修です。

※GSTC基準は「持続可能なマネジメント」、「社会経済のサステナビリティ」、「文化的サステナビリティ」、「環境のサステナビリティ」4つのカテゴリーから成り立っており、それぞれに指標項目が設定されています。

※日本独自の基準（JSTS-D）において、同研修を受講することがJSTS-Dロゴマークの取得条件のひとつとなっています。また、研修修了者には修了証明書と、研修後実施されるテストに合格することでプロフェッショナル証明書が発行されます。

開催日	2026年7月7日（火）～9日（木）
実施場所	三豊市危機管理センター（香川県三豊市）ほか
出席者	17団体23名
機構出席者	松本チームマネジャー、夢田マネジャーほか3名



＜座学の様子＞



＜フィールドワーク（仁尾の町並み）＞



＜フィールドワーク（NIPPONIA仁尾）＞



＜フィールドワーク（父母ヶ浜）＞

2026年度 四国「ジオツーリズム」セミナーを開催します。参加者募集中！

【ブランディング】

9月16日（水）、日本ジオパークに認定されている「三好ジオパーク」で、四国「ジオツーリズム」セミナー（現地研修）を開催します。「ジオ」の視点から地域の魅力を読み解き、観光コンテンツの付加価値を高めることが本セミナーのテーマです。池田町のまちなみや大歩危のダイナミックな景観を実際に歩きながら、地形・地質と、その土地の歴史・文化・暮らし、さらには妖怪伝承とのつながりを紐解き、「ジオ」の視点を活かした観光コンテンツづくりやガイド手法について実践的に学びます。

講師には、NHK「ブラタモリ」にも出演された、ジオ研究の第一人者である香川大学 名誉教授・特命教授 長谷川修一氏と、三好ジオパーク 地質専門員 殿谷梓氏をお迎えします。

観光関係者はもちろん、ジオや地域の歴史・文化、まち歩きに興味のある一般の方もご参加いただけます。ぜひこの機会にご参加ください！



▶ お申込み・詳細はこちら
[申込QRコード]



実施日時	2026年9月16日（水）10:40～17:00頃
実施場所	徳島県三好市（池田市街地、大歩危周辺）
定員	30名（先着順）
費用	無料 ※昼食代1,500円及び妖怪屋敷入場料500円は参加者各自で負担
申込締切	2026年8月27日（木）

「DMO観光地域づくりシンポジウム」に参加

【ブランディング】

7月31日（金）、岡山県岡山市で、公益社団法人日本観光振興協会主催の「中国・四国・関西エリアDMO観光地域づくりシンポジウム」が開催され、先進事例や地域マネジメントをテーマに識者による講演が行われました。

第1部では、一般社団法人せとうち観光推進機構 坂元浩氏より、広域連携DMOとしての組織運営や高付加価値化、観光DMP・AIの活用、インバウンド消費額7,500億円を目指す取り組みが紹介されました。

第2部は、リージョナルリング株式会社 丸野敬氏から、インバウンドの地方分散の重要性やDMOの役割、勘や経験に頼らない目的に応じたデータ活用の実践手法について詳細な解説がなされました。

その後、意見交換では参加DMO間でのディスカッションが行われ、インバウンドをテーマに活発な情報交換を実施いたしました。

当機構では、本シンポジウムで得られた知見を活かし、広域観光を推進してまいります。

実施日時	7月31日（金）14:00～17:30
実施場所	岡山コンベンションセンター
参加者	中国・四国・関西エリアDMO約20団体（約40名）
機構出席者	清水CMO



<会議の様子>

JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部、四国アライアンスと共催による「台湾観光商談会」を実施

【マーケティング】

7月14日（火）、台湾・台北市で、JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部、四国アライアンスおよび当機構の共催により、台湾の旅行会社を対象とした「台湾観光商談会」を開催しました。

当日は、四国側から参加した宿泊施設や観光施設などによる活発な商談が行われました。当機構もブースを設置し、四国内の主な観光コンテンツの紹介をはじめ、広域モデルルートの提案、インバウンド団体客を受け入れ可能な宿泊施設や飲食店の情報提供などを行いました。

商談会後には、四国を代表して西森高知県副知事による各県の推薦スポットや最新の注目情報等のプレゼンテーションが行われました。また、今回初めて、四国側参加者の皆様にご提供いただいた「高松-台北」の往復航空券等の景品が当たる抽選会を開催しました。現地の旅行会社の皆様にも楽しみながら四国の魅力に触れていただき、会場は大いに盛り上がりしました。

当機構では、今後も引き続き、会員や四国の観光関係者の皆さまと連携しながら、四国へのインバウンド誘客を図ってまいります。



＜商談会／当機構ブースの様子＞



＜西森高知県副知事によるプレゼンの様子＞

ANA誘遊四国キャンペーンによる豪州旅行会社を招請した四国視察（FAMツアー）を実施しました！

【マーケティング】

7月19日（日）から25日（土）の7日間、全日本空輸（株）とタイアップした「ANA誘遊四国キャンペーン」の一環として、豪州の旅行会社を招請した四国視察（FAMツアー）を実施しました。

今回で3回目を迎えた視察では、一昨年、昨年と異なる豪州の旅行会社3社3名を招請し、四国各県の自然やアクティビティ、グルメなどを直接体験していただきました。

今後は、今回の視察をもとに訪日客向けに四国を目的としたツアーを商品造成いただき、四国への送客に向けた取組を行います。

開催日	2026年7月19日（日）～7月25日（土）
実施場所	四国4県、以下の順で実施。 愛媛県：道後散策、大洲城下町等、砥部焼絵付け体験、しまなみサイクリングほか 香川県：父母ヶ浜、金刀比羅宮、うどんづくり体験、丸亀城、栗林公園、ADOMILKほか 徳島県：阿波十郎兵衛屋敷、霊山寺、藍染め体験、薬王寺、うみがめカレッタほか 高知県：室戸ジオパーク、観光列車（時代の夜明けものがたり）、ひろめ市場ほか

次ページに続く



＜視察の様子：左から砥部焼絵付け（愛媛県）、丸亀うちわミュージアム（香川県）、
阿波十郎兵衛屋敷（徳島県）、観光列車（志国土佐時代の夜明けものがたり）（高知県）＞

JNTO広域連携プロモーション事業 米国インフルエンサー招請を実施

【マーケティング】

7月26日（日）～31日（金）の6日間、四国運輸局と連携して実施する、JNTOによる広域連携プロモーション事業（招請事業・記事広告事業）において、米国インフルエンサーを招請し、四国視察を実施しました。

視察では「体験型アクティビティと伝統文化が織りなす、心豊かなウェルネス旅」をテーマに、高知県から愛媛県を巡り、中津溪谷ウォーキングをはじめとする体験型アクティビティや、松山市での英語俳句ツアーをはじめとした文化体験など、四国の豊かな自然と歴史・文化を満喫していただきました。

今年度は、本事業のほかに2件の招請事業および記事広告事業を予定しております。当機構では、今後も引き続きJNTOや関係機関と連携しながら、四国へのさらなるインバウンド誘客を推進してまいります。

実施日	2026年7月26日（日）～31日（金）
実施場所	高知県：桂浜、高知城、ひろめ市場、ジョン万次郎記念館ほか 愛媛県：内子町散策、道後温泉、英語俳句ツアー、松山城ほか
招請インフルエンサー	Mark Harrison氏
機構同行者	7月26日（日）高知城・ひろめ市場（高知市）：長山マネジャー 7月31日（金）英語俳句ツアー（松山市）：三好マネジャー



＜7月26日 高知城訪問の様子＞



＜7月31日 英語俳句ツアー体験の様子＞

在ポーランド日本大使館主催「旅の集い」で四国の魅力を発信！

【その他】

7月2日（木）、在ポーランド日本大使館で開催されたイベント「旅の集い」において、当機構が制作した四国観光マップなどを展示・配布いただきました。

当イベントでは、想定を上回る130名の来場者が訪れ、親日層・知日層のさらなる拡大及び地方都市を含む訪日観光の機運向上につながりました。

来場者からは、「地方の文化や郷土料理の体験をしたい」、「自然や静けさを体験したい」、「新たな旅のインスピレーションを得ることができた」、「四国を自転車で旅行するのが夢」などのコメントがありました。

また、ヨアンナ・ムジドウォ氏（四国遍路経験者）による講演では、四国遍路の体験を通じて、四国の地域文化や各地の特色、旅の道中で得られた経験などをお話いただき、四国の魅力も知っていただく機会となりました。

実 施 日	2026年7月2日（木）
実 施 場 所	在ポーランド日本大使館 広報文化センター
参 加 者	130名
ホームページ	https://www.pl.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00732.html



＜観光ガイドマップなど展示の様子＞



＜四国PR動画投影の様子＞

イタリアの旅行系インフルエンサーが「四国」を投稿いただきました！

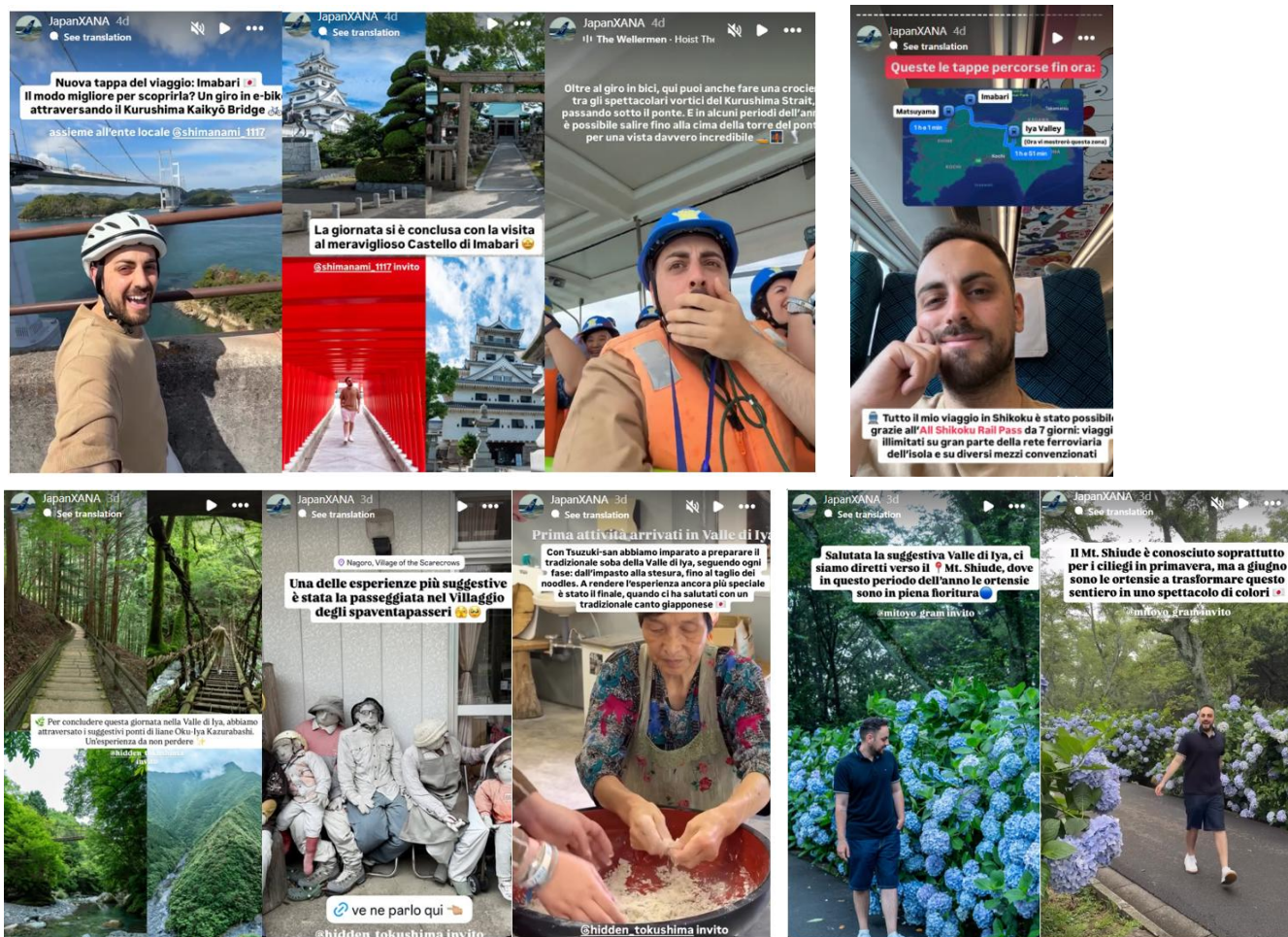
【その他】

2025年11月ロンドンで開催されたWTM2025出展の際に、ANAロンドン支店を訪問したことがきっかけで、同支店欧州室マーケティングチームによるプロモーションの一環で、イタリアの旅行系インフルエンサー「アントニオさん（@antoniodimaiolo）」とコラボレーションした視察を、6月19日（木）～28日（土）に愛媛、徳島、香川で実施しました。

視察の際は、関係団体、施設のみなさまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

アントニオさんからは以下のとおり、7月に投稿いただいています。

<投稿内容>



今月のオウンドメディア等

【清水CMOからの情報】

今月は、観光庁が観光立国推進基本計画で掲げる「旅行需要の平準化」を四国遍路から検討してみました。DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）では、当機構独自データとして、おへんろ交流サロンで実施している外国人遍路客に対するアンケートに加えて、今年度から遍路イレブン（徳島県吉野川市）、宿 in TEKTEK（香川県さぬき市）での調査結果も加えました。現在、概要版のデータをDMPで可視化できますので、ご覧ください。詳細版は完成次第、会員の皆様へ公開させていただきます。

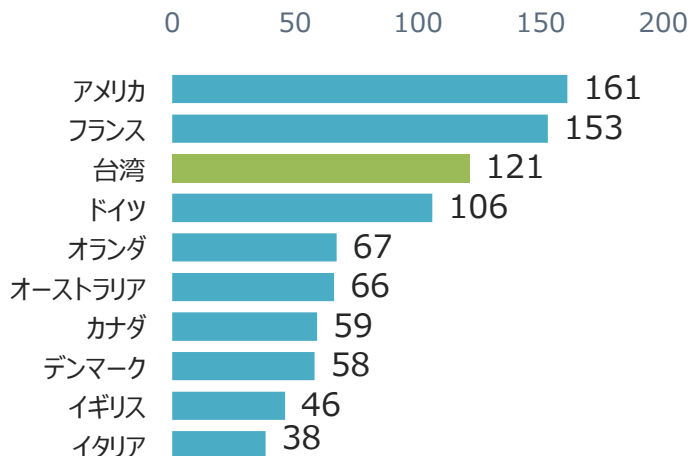
【外国人遍路客数】

（出典：当機構DMP2024.10.1～2026.7.12）

調査場所	合計（人）
①おへんろ交流サロン	727
②遍路イレブン	316
③TEKTEK	122
合計	1,165

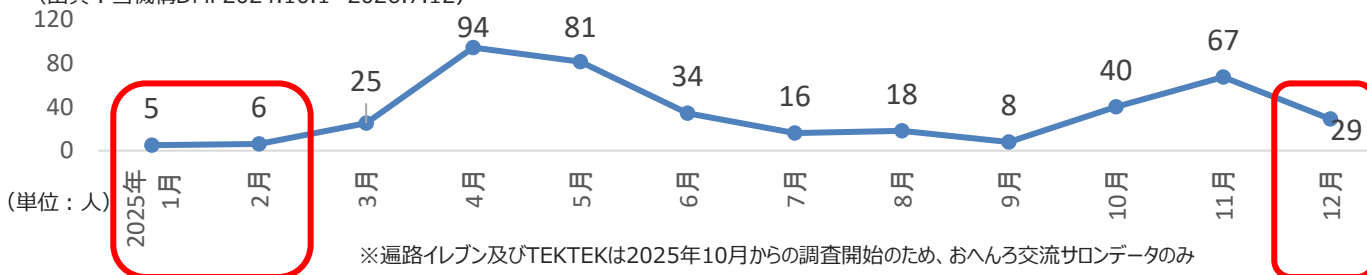
【上位10カ国人数】

（出典：当機構DMP2024.10.1～2026.7.12）



【2025年月別外国人遍路客数】

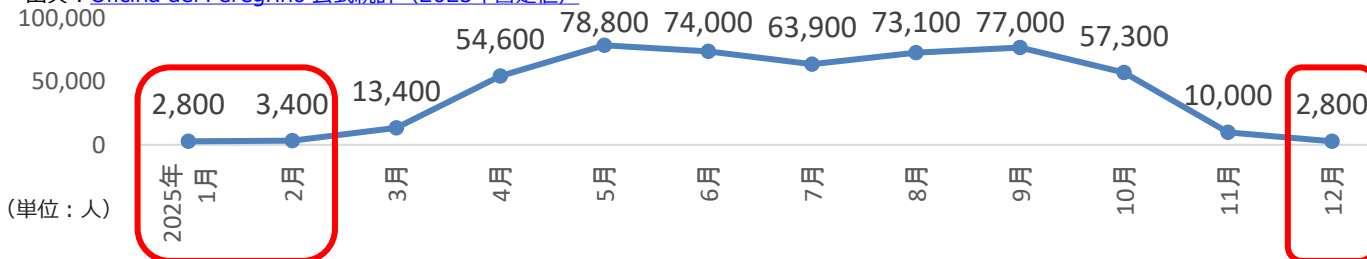
（出典：当機構DMP2024.10.1～2026.7.12）



冬場の外国人遍路客は減少。

【2025年月別サンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼者数】

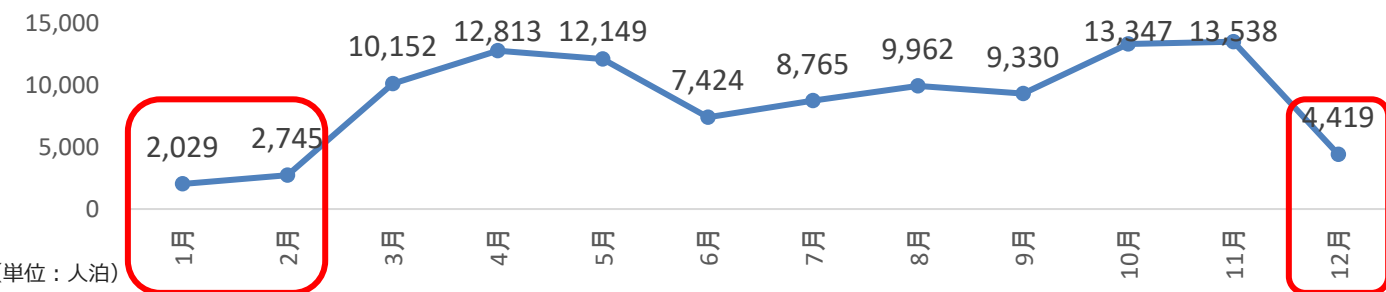
出典：Oficina del Peregrino 公式統計（2025年暫定値）



世界的巡礼路「[サンティアゴ・デ・コンポステーラ](#)」でも冬場は減少。

サンティアゴ・デ・コンポステーラでも冬場が大きく落ち込んでいました。最も象徴的な難所「フランス人の道（通称ナポレオン・ルート）」は、11月1日から3月31日までの期間、安全確保のため、法令によって公式に全面閉鎖しています。

【2024年高野山の外国人宿泊者数】[（出典：和歌山県「令和6年 観光客動態調査報告書」）](#)



高野山（熊野古道）でも冬場の外国人宿泊者は減少。

「冬場に屋外を長く歩く」ことが敬遠されることから、冬に客数が減少することは、四国遍路・サンティアゴ・デ・コンポステーラ・熊野古道にも共通していました。

【冬場の四国遍路可能性】

しかし、四国は冬でも比較的暖かく、厳しい寒さにはなりません。

そこで、歩き以外の魅力を追加した四国遍路であれば、誘客の可能性があるのではないかと考えました。

現在の旅行商品から四国遍路の要素が多い[アドベンチャートラベル（AT）](#)コースを含む3コースをピックアップしたところ、「屋内での瞑想体験」や「低地での歩き遍路体験」を含むコースや、冬場でも楽しめる遍路体験を組み込んだ旅行商品など、「四国遍路」×「AT」商品での誘客可能性はあると考えています。

通年で催行できる遍路を含むコース	コンテンツ概要
サイクリングで気軽なお遍路体験と日本のディープな醸造文化体験	七ヶ所まいり・僧侶との交流・瞑想体験・精進料理・テンプルステイ・酒蔵。屋内が多い。
吉野川の歴史を訪ねて四国を楽しむ（2泊3日）	歩き遍路・藍染体験・うどん体験・町並み歩き。屋内が多い。
大自然の宝庫『四国』の島・海・川のアクティブ体験を気軽に楽しめるコース（4泊5日）	歩き遍路体験・小豆島・道後温泉。



＜瞑想体験＞



＜歩き遍路体験＞

四国のインバウンド観光は冬（1月、2月）に観光客数が減少する傾向にあります。

冬場に誘客することが、「旅行需要の平準化」に繋がり、観光産業従事者の通年雇用化や客室稼働率の向上になると考えております。

当機構では2027年3月16日から18日にかけて、ドイツ・ベルリンで開催されるB to B旅行見本市「ITB Berlin 2027」のJNTOビジット・ジャパンプース内に出展し、ドイツをはじめとする欧州や米国の旅行会社が集まる場で、四国遍路やアドベンチャートラベルを訴求し、旅行商品の造成を働きかけてまいります。

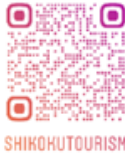


代表理事の主な動静

7月10日（金）定例会議・推進会議（当機構の会議）
23日（木）定例会議・推進会議（当機構の会議）

（一社）四国ツーリズム創造機構
事業推進本部
岸本、神野

TEL：087-813-0434
FAX：087-813-0312



後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日(火) ～2027年3月(予定)	https://www.botchan.co.jp/production.html
四国コンテンツ映像フェスタ2026	四国総合通信局、 四国情報通信懇談会	2026年4月24日(金) ～12月(予定)	https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/
周遊スタンプラリー「四国巡りんく」	本州四国連絡高速 道路株式会社	2026年5月25日(月) ～2027年1月31日(日)	参考(2025年度公式サイト)： https://www.love-setouchi.jp/megulink2025/
第7回 SB Student Ambassador 四国ブロック大会	SB Student Ambassador 四 国ブロック大会 事 務局	2026年6月12日(金) ～11月7日(土)	https://www.sbsa27.com/

7月以降の主な予定表

区分	8月	9月	10月	11月	12月	1月
マーケ ティング (国内)	JAL麗らか四国キャンペーン（4月～10月） ツアーズEXPO （9月24日～27日/東京）	ANA誘遊四国キャンペーン（9月～3月） ● 秋のしあわせ、まるっと四国巡りフェア （11月21日～23日/京都）	● 四国観光商談会 （10月6日/大阪）	● 四国インバウンド商談会 （11月10日/高松市）		
マーケ ティング (国際)	JNTOマーケット研究会 （9月9日/高松市） ● インバウンド課室長会議 （8月6日/高松市）	● VJTM（9月24日～26日/東京） ● JAL麗らか四国キャンペーン英国FAMツアー （9月8日～14日 /四国4県） ● ATWS （9月14日～17日/カナダ）	● 第18回FITフェア（10月16日～18日/タイ）			
ブラン ディング	四国DMO連携会議 （8月5日/松山市） ● 第1回意見交換会 （8月26日/高知市） ● Greater WEST JAPAN 連携会議 （8月21日/高松市）	● 海外OTA掲載のための 商談会・セミナー（9月3日/徳島市、4日/松山市） ● 四国「持続可能な観光」 ネットワーク会議（10月29日/内子町） ● 四国ジオツーリズムセミナー （9月16日/三好市）		● 四国「持続可能な観光」先進地視察 （11月25日～26日/高山市） ● 第2回意見交換会 （11月9日/徳島市）		